

平成30年度青森県原子力防災訓練

11月10日(土)、11日(日)に青森県・関係市町村の共催により、東北電力(株)東通原子力発電所1号機を対象に、原子力防災体制の確立、防災関係機関の緊急時対応能力向上を目的とし、約96機関、約1200名(住民参加者を含む)が参加し、原子力防災訓練が実施されました。

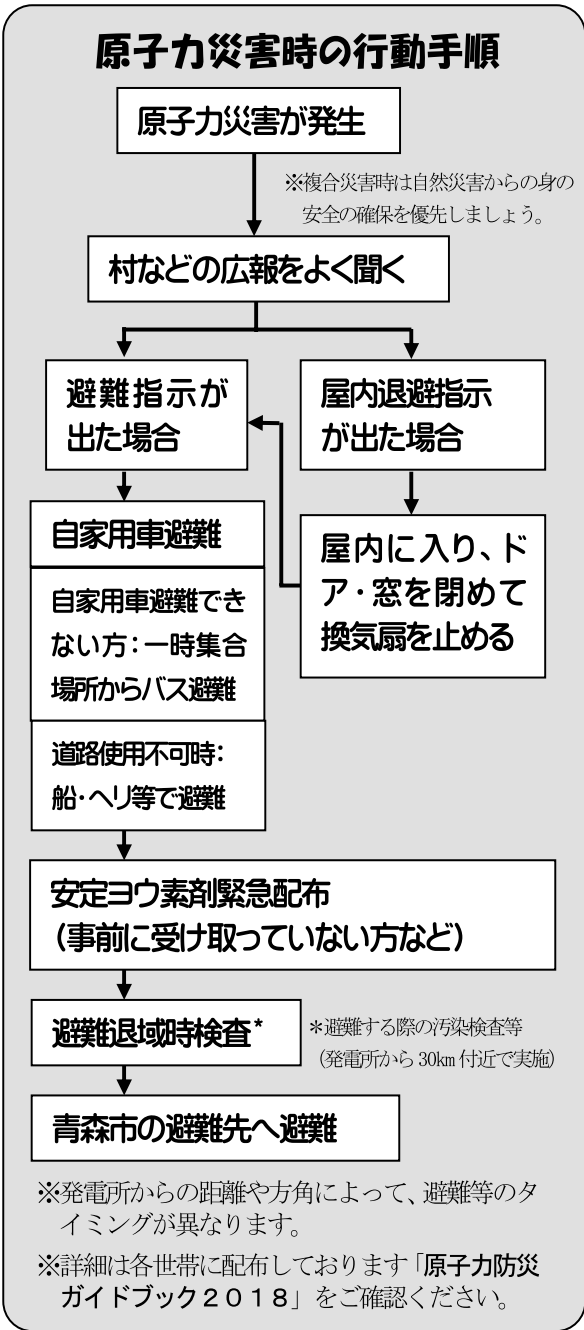
10日の訓練では、東通村防災センター(消防署併設)に関係機関の職員が参集し、オフサイトセンター運営訓練を実施、中央(東京)からの要員が到着する前の初動時における原子力災害時の防災対策の検討、情報共有について机上訓練を行いました。

11日は、避難等の実働訓練を行いました。

村では、白糖、老部、小田野沢、猿ヶ森地区の8名の住民が参加し、陸上自衛隊のヘリによる空路避難訓練を実施し、尻屋岩屋、尻労、袋部地区の32名の住民が参加して、海上自衛隊の艦船による大平岸壁からの海路避難訓練を実施しました。

避難訓練では各手段における避難手順の確認を行いました。また、海路避難訓練と連携し、初めて安定ヨウ素剤緊急配布訓

練を実施し、職員、住民双方で配布手順の確認を行いました。その他に、防災無線、広報車などによる住民への広報訓練、電話・FAX等による村内医療福祉施設への情報伝達訓練、福祉車両による避難行動要支援者搬送訓練を行いました。訓練にご参加いただいた住民の皆さんは原子力災害時の行動等を確認しながら、真剣に取り組んでいました。村は、原子力防災対策に万全を期すため、今後も定期的に訓練を実施していきます。ご協力ありがとうございました。



各訓練の様子



オフサイトセンター運営訓練



巡回広報(消防団等)



空路避難訓練



海路避難訓練



安定ヨウ素剤緊急配布訓練



避難行動要支援者搬送訓練